

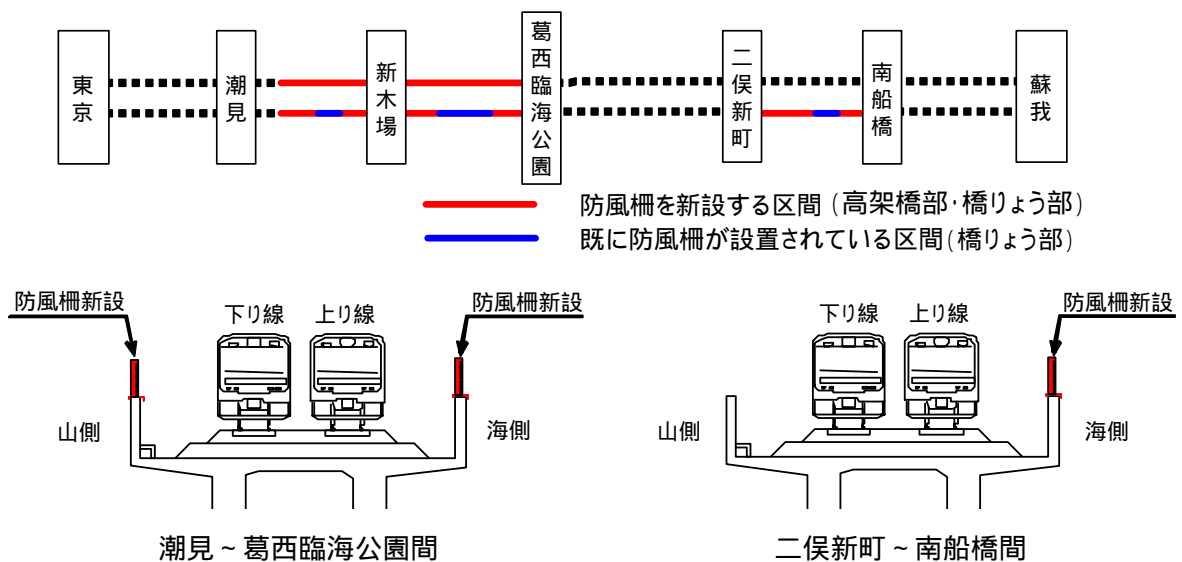
## 京葉線の防風柵設置について

京葉線では、強風による輸送障害を低減するために、6橋りょうへの防風柵の設置などを行ってきました。これらの対策は一定の効果を発揮していますが、現在でも強風による輸送障害が発生し、お客さまに大変ご迷惑をおかけしています。今回、強風による輸送障害のさらなる低減を目指して、潮見・葛西臨海公園間の両側と二俣新町・南船橋間の片側（海側）の橋りょう部および高架橋部に防風柵を設置します。

なお、防風柵の設置工事は2010年夏頃から秋頃にかけて開始し、全面的な使用開始は2012年秋頃を目指しています。

### 1 防風柵の設置区間

防風柵は、潮見～葛西臨海公園の高架橋等の両側と二俣新町～南船橋の高架橋等の海側に設置します。



### 2 防風柵の設置方法（高架橋部）

今回新たに高架橋部に設置する防風柵の形状は、高架橋の高欄（壁状の欄干）構造によって、高欄に嵩上げるタイプ（嵩上げ型）と高欄を取り替えるタイプ（一体型）の2種類があります。



### 3 既設の防風柵

線名	橋りょう名称	設置位置	使用開始
京葉線	夢の島橋りょう、荒川放水路橋りょう 江戸川橋りょう、江戸川放水路橋りょう 海老川橋りょう、花見川橋りょう	片側（海側）	2007年